KISHIDA

CSR REPORT

キシダ化学 CSR レポート
活動報告 Vol.2

キシダ化学株式会社



Contents



代表挨拶 …… 02

会社概要 …… 03

事業内容 …… 04

CSR活動体制 …… 05

当社における社内規程の構造 …… 06

経営理念 …… 07

企業倫理宣言 …… 08

企業行動規範 …… 09

活動報告 …… 10

- 活動報告 01 ——— CO2排出量の削減に向けた取り組み
- 活動報告 02 ——— 廃棄物の3R推進活動、環境保全に対する取り組み
- 活動報告 03 ——— 働き方改革、女性活躍の促進、育児との両立支援
- 活動報告 04 ——— 三田事業所の取り組み、徳島工場 連続無災害2500日達成
- 活動報告 05 ——— 社会貢献活動（徳島工場、三田事業所、清掃活動）
- 活動報告 06 ——— コンプライアンス体制の推進、個人情報保護法への取り組み
  試験情報管理システムの導入
- 活動報告 07 ——— 創薬コンソーシアムにおける取り組み
  運送会社への待機時間の削減と物流効率化を推進



キシダは
Chemicalation!

皆さまと世界の夢を化学する
— Chemical × Collaboration × Imagination —

代表挨拶

100周年を迎えて

キシダ化学は1924年1月大阪の地に創業し、2024年に100周年の節目を迎えました。

「すべてはお客様の研究開発のために」を信念とした企業文化を礎とし、「試薬」を通じて、電池材料や創薬支援、ライフサイエンスなど様々な領域でお客様の夢の実現を支えてまいりました。

「皆さまと世界の夢を化学する」を100周年のキーワードとし、これまで培ってきた技術、経験、繋がりを活かし、世界に目を向けて活動の場を海外へ広げることで新たなグローバル・サプライチェーンを構築し、企業価値の向上に努めてまいります。

昨今の環境、エネルギー、食料等の世界的な社会課題の解決には、不断の研究・技術開発が必要不可欠です。キシダ化学は、「お客様の夢の実現をサポートするトータル・ソリューション・カンパニー」として、真にお客様の課題と向き合い、研究開発を支えることで、社会から信頼される企業として社会的責任を果たしてまいります。

お取引先をはじめとする全てのステークホルダーの皆様の期待にお応えできるよう、よりよい社会を次世代につなげていく使命を絶えず意識し、成長し続けてまいります。

代表取締役社長
岸田 充弘

会社概要



名称	キシダ化学株式会社 KISHIDA CHEMICAL CO.,LTD.
創業	1924 年（大正 13 年）1 月 1 日
設立	1941 年（昭和 16 年）6 月 7 日
資本金	7000 万円
営業品目	研究用試薬・分析用試薬・環境科学用試薬・生命科学研究用試薬・標準物質及び標準試料・電子工業用薬品・電池研究用試薬・LIB 用材料・食品添加物・農薬・HTS 秤量融解業務・化合物バンク・化合物合成及び分析受託・調製液製造受託・医薬品原料・医薬品・体外診断用医薬品・歯科用医薬品・医療用分析機器・医療機器・機能性生体試料
代表取締役	岸田 充弘
従業員数	299 名（男性 177 名、女性 122 名）2024 年 8 月現在
本社	〒540-0029 大阪市中央区本町橋 3 番 1 号 TEL 06-6946-8061（代）　FAX 06-6946-1607

事業内容

キシダ化学は、主力製品である**試薬、化成品、電池材料**に加え、近年では、**ライフサイエンス、創薬支援**にその活動範囲を拡大させています。



全国の特約店
152拠点
(2024年6月現在)





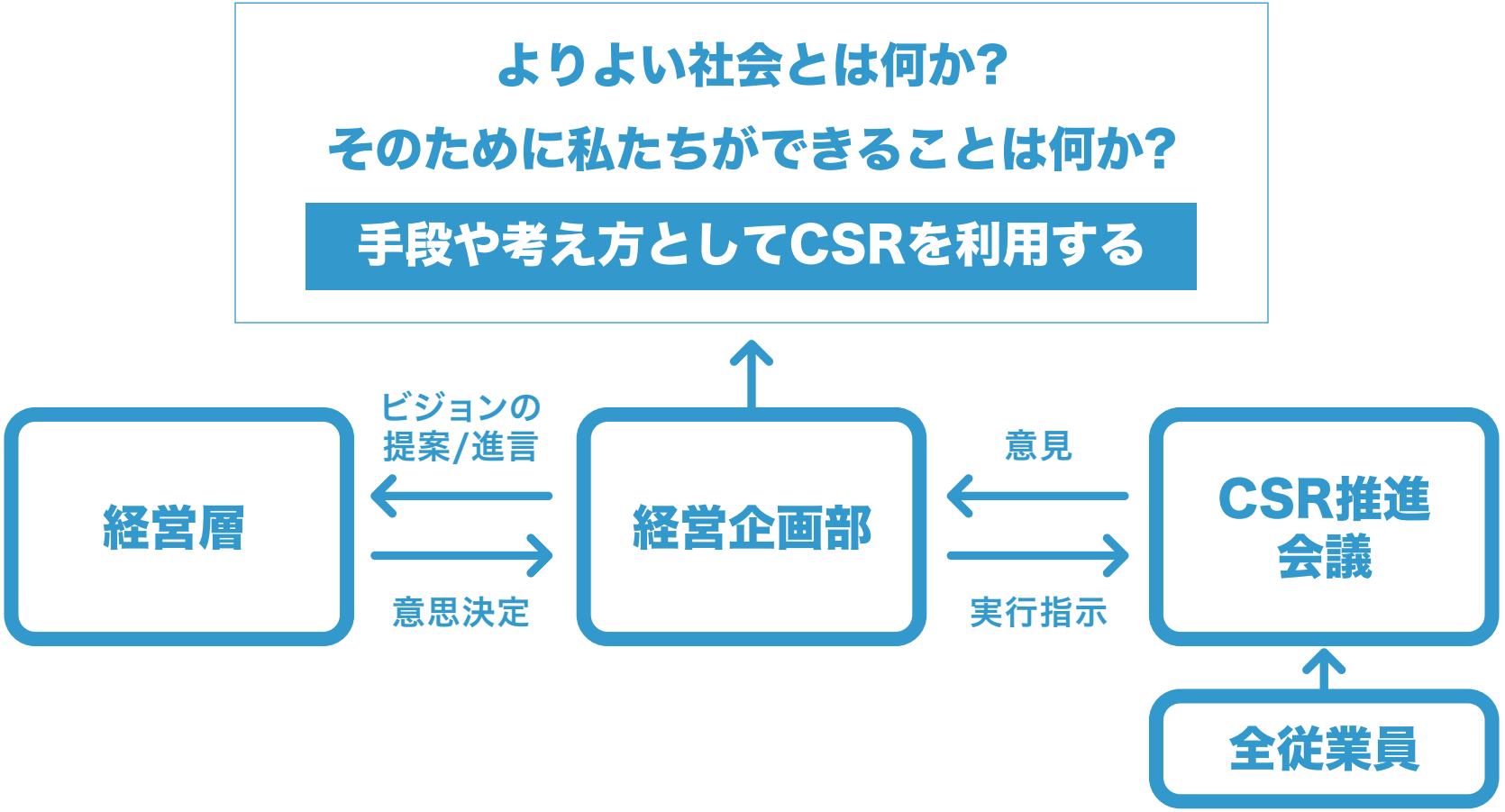


活動拠点

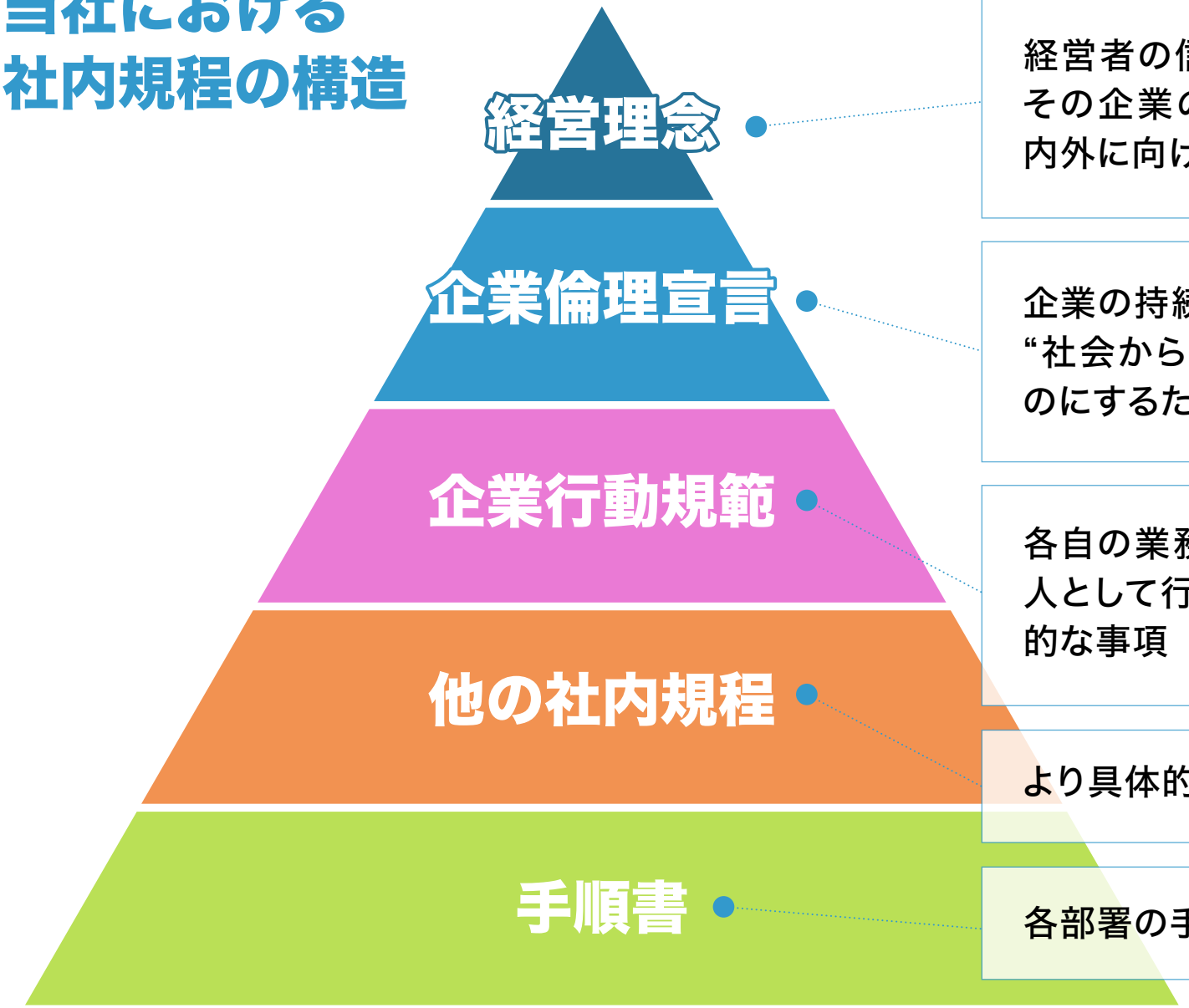
国内の拠点は大阪本社、東京支店、つくば事業所、沼津出張所、福岡営業所、山口営業所、三田事業所、徳島工場であり、中国には凱希達化学(上海)有限公司という現地法人を有しております。

CSR活動体制

経営企画部が主体となり、基本方針に基づいた具体的施策の審議および進捗管理を行っています。
お客様、従業員の皆様をはじめ、全てのパートナーの皆様とともにCSR、SDGs活動を進めることで理想的な会社となり、将来はこれらの活動に基づいた新規事業の創出なども行っていきたいと考えています。



当社における社内規程の構造



経営者の信念や目的などを明文化し、その企業の使命や基本姿勢などを社内外に向けて表明するもの

企業の持続的発展にとって最も大切な“社会からの信用・信頼”を確固たるものにするための社内外に向けた宣言

各自の業務を遂行するにあたり、又個人として行動する上で遵守すべき基本的な事項

より具体的な他の社内規程

各部署の手順書

経営理念

1 利潤を追求する

売上を拡大することは手段であって目的ではない。適正な利益のもと安定した納税を実施し、将来への投資を行い、社員・株主へ還元することこそ、当社信頼の礎である。

2 社会に貢献する

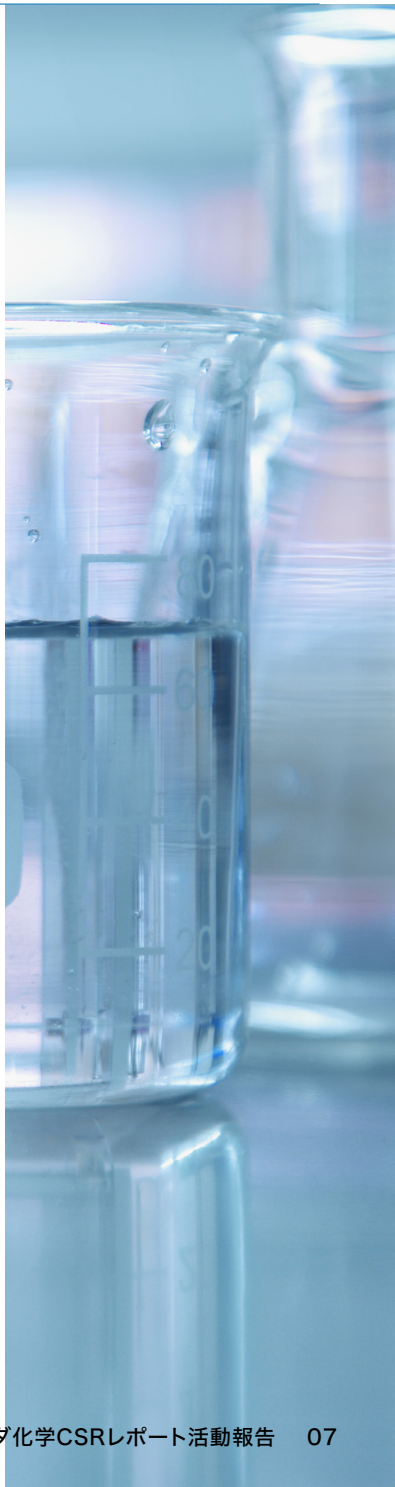
人々の安全で健康・快適な生活への貢献を喜びとし、日々の事業活動を通じて大気、水、土壌などの環境改善に努める。

3 需要を創造する

技術を向上させ、顧客が必要とする、モノやサービスや夢を先取りして提供することで、顧客を満足させ続ける創造的な企業を目指す。

4 共存共栄を図る

株主・取引先など、全ての協力者との相互繁栄を基本とし、合わせて社員の物心両面の幸福を追求することで、社会との共存共栄を目指す。



企業倫理宣言

1 キシダ化学株式会社がこの「企業倫理宣言」を行う目的は、当社が「よき企業市民」として社会的責任や公共的使命を全うし、企業の持続的発展にとって最も大切な“社会からの信用・信頼”を確固たるものにするためです。

2 キシダ化学株式会社は、別に定める「企業行動規範」に則り、常に企業倫理にかなった行動を実現することを宣言します。

3 私を含めた当社役員は、企業倫理を「誠実・公正・透明性を最も尊ぶこと」と考え、常にこれらにかなった行動をとり、これを社内の末端に至るまで教育・指導することを宣言します。

4 キシダ化学株式会社は、広く反社会的勢力及びその疑いや関係のある団体・個人との関係一切を否定し、企業市民として健全な社会と市場の育成に努力します。

5 キシダ化学株式会社は、世界の人々が健康で明るい生活を享受できる持続的な地球環境の保全を当社事業推進の大きな条件と認識し、その実現に向けて役員・社員一同邁進します。

企業行動規範

本規範は、キシダ化学株式会社に勤務する役員、従業員その他会社の業務に従事する全ての者が各自の業務を遂行するにあたり、又個人として行動する上で遵守すべき基本的な事項を定め、社会から信頼され持続的に発展できる企業となることを目的とするものである。

本規範に関する方針の決定、教育の実施を行う主たる部門を経営企画部とし、併せてCSR推進会議を運営する。加えて、遵守状況の監視及び行動の適否を判断する機関として、取締役会に倫理委員会を設置しこれらが適切に運用されていることを監視することとする。

令和6年9月 キシダ化学株式会社
代表取締役 岸田 充弘



企業行動規範

1 企業倫理
キシダ化学は、コンプライアンスの意識が一人ひとりに浸透した企業風土を築きます。

2 人権と多様性
キシダ化学は、基本的人権を尊重し、平等で多様性のある職場をつくります。

3 安全衛生
キシダ化学は、社員の健康に配慮し、安全で働きやすい環境をつくります。

4 相互繁栄
キシダ化学は、高品質な製品・サービスを提供しあうことでビジネスパートナーとの相互繁栄を目指します。

5 情報管理
キシダ化学は、事業活動において入手・作成した情報の管理・保護を適切に行います。

6 環境
キシダ化学は、子供たちに青い空、透き通った海、緑の大地を残します。

7 社会貢献
キシダ化学は、国際社会・地域社会との協調を図り、豊かな社会の発展に貢献します。

活動報告 REPORT 01

環境　キシダ化学は、子供たちに青い空、透き通った海、緑の大地を残します。

CO_2排出量の削減

各業界へのサプライヤーとなる化学業界では、CFP算出体制の重要性が高く意識されています。

脱炭素社会の実現に向け、キシダ化学はCO_2排出量を2050年までに実質ゼロとする目標を掲げています。本目標を達成するため、事業活動で使用される電力や生産行為において排出されるCO_2量の把握と削減に着手をしています。

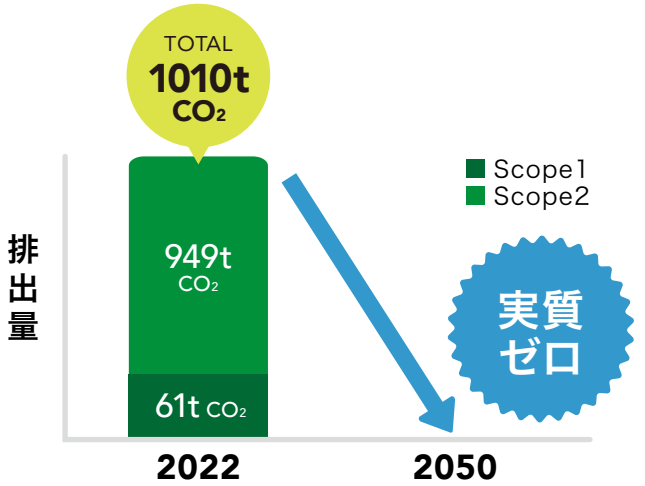
生産行為におけるCO_2の直接排出量（Scope1）に対し、電力使用に伴う間接排出量（Scope2）が9倍近くとなっている当社の状況から、Scope2における排出量の削減を重点的に進めています。

Scope3の算出を目指すにあたっては、購買、物流、生産、人事総務、各廃棄物担当部署等多くの部門が連携し一丸となって取り組んでおり、全社を挙げてカーボンニュートラル達成のための活動を続けています。

CO_2削減に向けた取り組み

- グリーン電力の購入
- 電気式フォークリフトの採用
- 社用車のEV化検討

2050年CO_2排出量削減目標



※生産3拠点のみの排出量。2021年10月 - 2022年9月にて算出

活動報告 REPORT 02

環境 キシダ化学は、子供たちに青い空、透き通った海、緑の大地を残します。

社会貢献 キシダ化学は、国際社会・地域社会との協調を図り、豊かな社会の発展に貢献します。

REDUCE REUSE RECYCLE

廃棄物の3R推進活動

- 使用期限が近付いた試薬の安価販売や、廃棄していた貴金属および貴金属化合物の売却を実施するなどして、廃棄物を削減し限りある資源の再利用に貢献しています。

- お客様に代わって試薬調製をまとめて実施する受託サービスを展開するなど、ステークホルダーの廃薬品削減にも力を注いでいます。

環境保全に対する取組

- 社用車の削減を行い、必要な時だけ使用するカーシェアを活用することで、資源の有効利用に努めています。
- 社員からの提案でマイハシ、マイカップ運動に取り組んでいます。
- 2024年3月 凱希達化学の社員と家族による植樹イベントを開催しました。



▲ 植樹活動の様子

活動報告 REPORT 03

人権と多様性 キシダ化学は、基本的人権を尊重し、平等で多様性のある職場をつくります。

社員が気持ちよくやりがいをもって働くことができるように 働き方改革、女性活躍の推進、育児との両立支援に努めています。

働き方改革

- フレックスタイム制の導入（利用率53.8%※1）
- テレワークの推進
  （モバイルワーク利用率：49.7%※1、在宅勤務制度利用率：15.7%※1）
- 社内研修の拡充（希望者対象のIT関連スキルなど）
- 資格取得奨励制度の導入
- ハラスメント研修の実施
- 社内表彰制度（サンキューアワード）の実施
- クール/ウォームビズ、オフィスカジュアルの推奨

※1　2024年5月末時点

女性活躍の促進

女性採用率	女性従業員比率	女性管理職比率
54%※2 （12名/22名）	40.8%※3 （122名/299名）	17%※3 （10名/59名）

全採用者数における女性労働者の採用比率40%を目標として活動を続けています。

※2　2023年4月1日 - 2024年3月31日にて集計　　※3　2024年8月時点

育児との両立支援

女性のみならず男性の育児休業取得率向上に向け、休業取得者・復帰者へのフォロー体制を拡充させています。
産後パパ育休等の子育てに関する社会制度及び利用できる社内制度の周知や、休業直前や復帰後などのフォローアップ面談も多数実施しています。

出産者数（配偶者出産数を含む）	育休取得者数	育休取得者復帰率	育児時短勤務制度利用者数
2名	9名	100%	8名

2023年4月1日 - 2024年3月31日にて集計

活動報告 REPORT 04

安全衛生 キシダ化学は、社員の健康に配慮し、安全で働きやすい環境をつくります。

相互繁栄 キシダ化学は、高品質な製品・サービスを提供しあうことでビジネスパートナーとの相互繁栄を目指します。

三田事業所の取り組みが「優秀賞」を受賞

マックス株式会社様主催の第6回安全表示・人づくりコンテストにて、多くの企業の皆様にご投票いただき、安全表示受賞の優秀賞を頂きました。





表示の目的・背景

令和5年4月付の安全衛生法改正において、リスクアセスメント対象の化学薬品を小分けした容器に対し、薬品の名称と危険性・有害性情報(GHSシンボル他)をラベル等で伝達することが義務付けられました。

ココが言いたい!

試薬メーカーである当社は、小分けした薬品も多種多様。従来のラベルではコストや時間も掛かります。そこで、ビーポップのデータベース機能を駆使し、薬品名、GHSシンボル、有害性情報を記録、一括印刷できるようにしました。さらに部署毎にラベルの縁どりを色分け、別部署の薬品と混ざらないようにしました。

中央労働災害防止協会発刊の月刊誌「安全衛生のひろば」にてインタビュー記事も掲載いただきました。

「安全なくして生産なし、安全は全てにおいて優先する」の号令のもと、同事業所ではヒヤリハット管理分科会を独自に設置するなど安全な職場の構築に努めています。

徳島工場

連続無災害2500日達成記念食事会を開催

職場環境の見直しと従業員の安全に対する自覚を支援する機会として、連続無災害2500日達成※4における記念食事会を開催いたしました。

2024年9月4日には、連続無災害3000日を達成しております。

同工場では労働災害撲滅活動として安全教育と安全パトロールを強化しており、従業員の安全への意識を高める取り組みを継続しております。

※4 2016年6月より

活動報告 REPORT 05

相互繁栄 キシダ化学は、高品質な製品・サービスを提供しあうことでビジネスパートナーとの相互繁栄を目指します。

社会貢献 キシダ化学は、国際社会・地域社会との協調を図り、豊かな社会の発展に貢献します。

社会貢献活動

徳島工場

- 土成工業団地にて開催される企業対抗の交流ボウリング大会に参加しております。
- 阿波シティマラソンにボランティアとして参加し、運営に貢献いたしました。
- ふれあい御所まつりにおいて、段ボール迷路組み立てを含むボランティアを実施しました。

三田事業所

- 災害時の地域のための食料、水の備蓄を行っています。期限の近くなったものについては、地域の子ども食堂やコロナで困窮した学生の方へご提供させていただいています。（2024年は7月5日に実施しました。） 兵庫県三田市とは、災害時における人的支援等に関して平成30年より協定を締結しております。



▲ 学生の方への物品支援の様子

- 社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 丹南精明園とコラボし、当社一部の製品は共同で製造を行っております。
- 2023年11月に、所属している三田市防火安全協会で実施した東日本大震災交流支援事業に参加し、宮城県南三陸町/三田市の合同防災訓練への参加や震災遺構等の見学を行いました。

清掃活動

大阪本社は東横堀川清掃e-よこ会、東京支店は江東区アダプトプログラム（こうとうまち美化応援隊）に参加しており、地域の方々と共に事業所周辺の清掃活動に積極的に取り組んでいます。

活動報告 REPORT 06

企業倫理 キシダ化学は、コンプライアンスの意識が一人ひとりに浸透した企業風土を築きます。

情報管理 キシダ化学は、事業活動において入手・作成した情報の管理・保護を適切に行います。

コンプライアンス体制の推進

全社一丸となり、法規順守と社員教育に継続的に取り組んでいます。

- **化学品適正管理の推進**
- **輸出・輸入時の安全保障管理の徹底**
- **業態に即した関連法規の教育**
  （販売業、製造業、化審法等）



個人情報保護法への取り組み

事業活動によって入手・作成した情報資産を情報漏洩やウィルス等の脅威から守る仕組みやルールを構築しています。
社員の情報セキュリティに対する意識の向上や、お客様・取引先様からの信頼性向上を目指しています。

- **情報セキュリティポリシーの策定、運用の開始**
- **社内規程（秘密情報管理・個人情報保護）の整備**

試験情報管理システムの導入

本システムの導入により業務進捗管理やログ・証跡管理、試験結果の自動取り込みが可能となり、試験業務の生産性と信頼性の向上に繋がります。

活動報告 REPORT 07

相互繁栄 キシダ化学は、高品質な製品・サービスを提供しあうことでビジネスパートナーとの相互繁栄を目指します。

創薬コンソーシアムにおける取り組み

キシダ化学は、各創薬コンソーシアム（J-CLIC、J-PUBLIC、BALUE）の幹事会と一体となって、参加各社の要望に最大限配慮した運用方法を提案し、創薬支援業務を実施しています。

いずれの創薬コンソーシアムにおきましても、短時間かつ安価に多くの目的化合物の入手が可能となる環境をご提供することで参加各社の研究の効率化および活性化に貢献しています。

本取り組みは、2023年11月に発刊されたMEDCHEM NEWSでも紹介させていただいております。
（MEDCHEM NEWS 33(4)176-180(2023)）

運送会社への待機時間の削減と物流効率化を推進

2024年4月1日以降にトラックドライバーの時間外労働時間の上限が制限されることを視野に様々な取り組みを行っております。

取り組みの例

- 集荷カット時間を16時で対応
- チャーター便の採用
- 物流の体制変更

